

第3学年1組 国語科 れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう 「すがたをかえる大豆」

学 習 活 動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿																		
1 前時学習を想起し、本時のめあてをつかむ。 ○ 前時を振り返り、本時のめあてをつかむ。 ・筆者の説明が分かりやすかったのには、順序にも理由がありそうだな。 筆者は、なぜ、このじゅんじょでせつめいしたのか考えよう。 2 事例の順序について、つくった考えを3人組で確かめ自分の解釈を深める。 ○ 選んだ根拠をもとに、3人組で考えを確かめ合う。 <table><tr><td>時間を表す言葉</td><td>写真・作り方説明の多さ</td><td>③文頭の言葉</td><td>⑧結論</td></tr><tr><td>作り方がかんたんなものから難しいものへ 時間のかからないものからかかるもの</td><td>大豆と分かりやすいものから分かりにくいものへ 工夫が分かりやすいものから分かりにくいものへ</td><td></td><td></td></tr></table> 3 友達と対話して、全体で読みを深める。 ○事例は、「どのような順序になっているのか」と、「この順序のよさ」について考え（読み）を出し合い、比べ合う。 <table><tr><td>くふうが分かりやすいもの (大豆のすがた・形に近いもの)</td><td>・分かりにくいもの (大豆のすがた・形から遠いもの)</td></tr><tr><td colspan="2">こんな食品も大豆だったのか (すがたをかえる大豆)</td></tr><tr><td colspan="2">気づかなかった (おどろかされる)</td></tr><tr><td colspan="2">こんなにいろいろ手を加えてくふうをしたのか (ちえ)</td></tr><tr><td>作り方が・かんたん ・時間がかからない</td><td>作り方が・ふくざつ</td></tr></table> ○ 7段落が書かれているわけについて考えを深め合う。 ・大豆は、種になる前にも姿を変えて食べられていると知らせたかった。ダイズがすがたをかえていることも知ってほしかったと思う。 ・「はじめ」にもダイズについて出てきたから、つながっていると思う。 ・読者がよく知っているえだ豆やもやし、大豆になる前の姿だと知らせ、いろいろな食べ方のくふうをした昔の人のちえに、“これは予想していなかったでしょう”と大きく驚かせたかったと思う。 すがたをかえた食品であることが、 分かりやすいものから分かりにくいものへ 作り方がかんたんなものからふくざつなものへ 読者も、昔の人々のちえに何度もおどろかされる 事例のじゅんじょになっている。 4 自分の考え（読み）を振り返り、読みの深まりと対話のよさを評価する。 ○ 「すがたをかえる大豆」の説明の順序は、筆者の考えがよく分かるように書かれていたか「今日の学習で」を書く。 ・このじゅんじょは、筆者の考えがよく分かると思う。分かりやすいものから分かりにくいものへならんでいるので、こんな食品やくふうがあるんだと、読者が何度もおどろかされて、発見しながら読めるから。	時間を表す言葉	写真・作り方説明の多さ	③文頭の言葉	⑧結論	作り方がかんたんなものから難しいものへ 時間のかからないものからかかるもの	大豆と分かりやすいものから分かりにくいものへ 工夫が分かりやすいものから分かりにくいものへ			くふうが分かりやすいもの (大豆のすがた・形に近いもの)	・分かりにくいもの (大豆のすがた・形から遠いもの)	こんな食品も大豆だったのか (すがたをかえる大豆)		気づかなかった (おどろかされる)		こんなにいろいろ手を加えてくふうをしたのか (ちえ)		作り方が・かんたん ・時間がかからない	作り方が・ふくざつ	○ 前時につくった事例の順序についての自分の考えを振り返り、本時のめあてを立てる姿が見られた。 ○ 「事例の順序の選択肢」と「読み方」をもとにつくった考えを伝え合う場を設定したことで根拠を明確にして、自分の選んだ順序について説明する姿が見られた。順序についての考えが同じでも根拠が違うことなどに気づき、共通点や相違点を確かめながら自分の考えに生かそうとする姿が見られた。 ○ 発問により、考えを再構成させた。昔の人々の知恵への驚きを大きく感じさせる文章構成の工夫であることを実感として捉えることができた。 T:筆者の考えに「おどろかされます」と書いてありますね。「おどろく」と「おどろかされる」では、感じ方がどう違いますか。 C1:筆者もおどろいている。 C2:わたしは読者もおどろかされる。 C3:この順序で読むと、どんどんおどろかされていく。 T:この文には主語がありません。主語を付けるなら何と書きますか。 C1:みんなが わたしたちは (おどろかされます。) T:7段落は植物のことを書いているので最後にあるという意見でしたが、7段落は必要ですか。 C1:2段落に植物のダイズのことが書かれているからつながりがある。必要。 C2:もやし大豆からできているなんて、分からないから。 C3:最後にこの例があると、おどろきをもっと大きくなる。
時間を表す言葉	写真・作り方説明の多さ	③文頭の言葉	⑧結論																
作り方がかんたんなものから難しいものへ 時間のかからないものからかかるもの	大豆と分かりやすいものから分かりにくいものへ 工夫が分かりやすいものから分かりにくいものへ																		
くふうが分かりやすいもの (大豆のすがた・形に近いもの)	・分かりにくいもの (大豆のすがた・形から遠いもの)																		
こんな食品も大豆だったのか (すがたをかえる大豆)																			
気づかなかった (おどろかされる)																			
こんなにいろいろ手を加えてくふうをしたのか (ちえ)																			
作り方が・かんたん ・時間がかからない	作り方が・ふくざつ																		
【資料1ノート「今日の学習で」】																			

- 効果的な発問を位置づけることにより新たな場面と出会わせることで、読みを再構成するとともに、事例の順序と結論とのつながりへの理解が深まった。
- 【資料1】のように、振り返り活動において視点を与えたことにより、学びを深める対話の中心となった内容から書きまとめることができた。また、考えの深まりにつながった読み方（着目した言葉・読む方法）や友達の発言について、多くの子が振り返って表現することができており、自分の学びを実感できていると考える。
- 根拠の文をタブレットで共有しながら発言する手立てについては、考えの可視化や比較がしやすいという点で有効だった。全体での交流において、発言のつながりという点からは、板書で俯瞰させながら捉えることができるようにする方が活性化すると考える。